

第2回北竜町ひまわり油再生協議会議事録

と き 平成28年3月16日
午前9時35分より午前11時30分
ところ 北竜町役場（2階）会議室

出席者 別紙名簿の通り

【挨拶】 会長

【紹介】 (株)MFJ 顧問 H 氏

【会議次第】

1. ヒマワリ油ブランド構築について

S 昨夜の青年部との検討協議内容を質問形式でYさんに説明していただきます。

Q. 町を知ってもらって多くの人に来てもらう。その為に町のブランド力を高める方策は？

→いいものを作ってどう理解してもらうか。ちゃんと説明できるものを作ってもらう。

1. 誰かのために何かをすることを宣言している町は北竜町だけ

2. それは、過去からずっと実践している、伝承している

3. 国民に健康を提供できる唯一の町

身体の健康 ひまわりライス、黒千石大豆、ひまわり、温泉

心の健康 ひまわり、温泉、自然

社会の健康 若年認知症

4. 健康のシンボルがひまわり

1-4の情報を整理してブランド化する

Tさんのよそ者の視点

Sさん（Tさん曰く） 1. 健康

2. 生産者がマーケットの声を直接聞いている
（他の町にはない。気づいていない）

3. 若者が一緒になって活動している
（他の町にはない。気づいていない）

Q. プロジェクトにおける地元若者の役割は？

→みんなは北竜町に来た人に北竜町をどう思って欲しいのか？

プロとしてプランは作るが（シナリオは描くが）実行するのは（演ずるのは）地元

Q. オーナー制度は出来ないのか？

→お金を出して、かつ北竜町でひまわりにどう係った人に油を届ける

Q. ひまわり油をどんな油にするのか？

→成分による優劣は輸入材で出来る事

北竜町は 第1に地元産100% 無農薬100%

第2に成分の良さ

Q. ひまわり油の食用油以外の使い

→商品単価UPを図る フレバーオイル・美容オイル

Q. ひまわり油はもうからないのか？

→ひまわり油だけでは難しい 係っている所に適正な利潤が出るように
北竜町全体の中で収益が出るように
みんなで一緒に考えて行きたい

Hさん よそ者に対する鑑が早く取れている
→ズバッといえている。だから実践できている。
よそ者を巻き込んで、自分たちのものにして欲しい。

2. 平成28年度ひまわり油事業計画について

(1) フローチャート

別紙によりT課長説明

(2) スケジュールについて

別紙によりT課長説明

Q. 作付取組み農家戸数は？

→5戸(団体)で1戸1haぐらい、団体は2-3ha

Q. ひまわりに取り組むきっかけは？

→畑作の輪作の中で変わったものを取り入れたい。

大豆(そば)→ひまわり→麦→そば(大豆) 機械・カルチそのまま使える

Q. トレサビリティ 無農薬栽培

→使える農薬が無い。種子はF1で自家採取は出来ない

生産者の思いはあるが、収穫量の確約はできない。菌核病の心配。

Q. えごま油・アマニ油への関心はあるのか？

→どういうモノかわかっていない中では進められない

畑作部会で興味本位で2-3反練習してからでないと、何とも言えない

H 久し振りに作るため、安定するためには時間が掛る

今年の様々なテストを検証し次に伸ばす

(3) 収支シミュレーションについて

別紙によりT説明

Q. 生産量の増加に伴う、出口ベースの対応

→Mさん コープさっぽろ、道の駅ギフトからの予約

社会員通販ベースで売り切れるビックリする数ではない

Sさん 生産力のポテンシャルが高い

社会的インパクトが大きい

Mさん ボリュームと内容と価格 1回目は高くても買う

2回目は買わない

島根県斐川町 国産原料100% 「出雲の国の向日葵油」

450g瓶×2本 5,250円(税・送料込)

Yさん 販売チャンネルの変更 食用油 今までの油を止めて乗り換えるのか？

ギフト用 日清の販売チャンネル

道の駅 お土産 } 3本セット3,000~5,000円

ひまわりまつり

ふるさと納税

3. その他

○M 期日 4月17日 品川区の緑化イベントに合わせて

会場 品川区戸越公園駅前商店街(南口・中央)

内容 ・北竜町のソバ(ザル)ともち米(赤飯)を使ってスタンプラリー投票(競

争)する 参加者には北竜町のひまわりの種を配布

- ・品川区長もイベントに参加 町長と面談
- ・最後に綱引き 北竜町の田から餅を賞品として
- ・JA ひまわりライスの物販